

国道208号 国立病院入口交差点改良事業

概要

本事業は、歩道を整備することにより、児童を含む歩行者の安全・安心な歩行空間を確保するものです。

現状

当該箇所は、近傍に倉永(くらなが)小学校や明光(めいこう)学園中学校・高等学校、ありあけ新世(しんせい)高等学校等が立地しており、学校指定の通学路として多くの児童を含む歩行者に利用されていますが、歩道が狭隘であるため児童を含む歩行者の安全が確保されていない状況です。

今後

令和元年度は、調査設計及び工事を推進します。

整備効果

歩道整備により、交通事故の低減を図ります。
【死傷事故率(H23～H26)：223件/億台キロ】

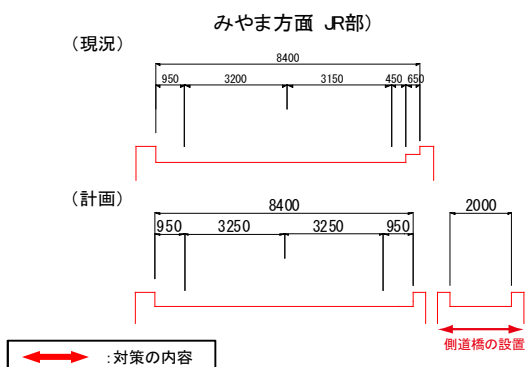
【位置図】



【位置平面図】



【横断図】



【整備前状況写真】



歩道が狭いため車道を通行する歩行者